



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月2日

上場取引所 東

上場会社名 EPSホールディングス株式会社

コード番号 4282 URL <http://www.eps-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日

平成28年6月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	25,650	16.3	3,794	55.6	3,937	57.0	2,524	156.4
27年9月期第2四半期	22,052	11.1	2,439	26.8	2,508	26.8	984	9.8

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 2,050百万円 (32.7%) 27年9月期第2四半期 1,545百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	61.06	—
27年9月期第2四半期	26.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	52,627	34,370	64.5
27年9月期	39,387	23,590	59.0

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 33,939百万円 27年9月期 23,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年9月期	—	10.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭 (創立25周年記念配当)

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	16.1	5,225	△4.7	5,500	2.6	3,000	38.7	67.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成28年1月1日を効力発生日として、株式会社総合臨床ホールディングスと株式交換を行い、新株式7,885,276株を株式会社総合臨床ホールディングスの株主に割り当てました。これにより、平成28年9月期の連結業績予想通期の1株当たり当期純利益は、株式交換を考慮した株式数で算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社総合臨床ホールディングス、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年9月期2Q	46,311,389 株	27年9月期	38,426,113 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年9月期2Q	1,749,301 株	27年9月期	626,280 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	41,340,709 株	27年9月期2Q	36,612,716 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には持株会信託が所有している当社株式が平成27年9月期には230,500株、平成28年9月期には183,600株含まれており、また、平成28年9月期には株式会社総合臨床ホールディングスが所有している当社株式400,000株が含まれています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15
(1) 生産実績	15
(2) 受注実績	16
(3) 販売実績	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高は、国内CRO事業、国内SMO事業、Global Research 事業の大幅な増収等により、前年同期と比較して、3,598百万円増の25,650百万円（対前年同期比16.3%増）となりました。連結営業利益についても、主に国内CRO事業、国内SMO事業、Global Research 事業の堅調な推移が牽引して、前年同期と比較して、1,354百万円増の3,794百万円（同55.6%増）となりました。

事業セグメント別内訳は次の通りです。

【国内事業】

当社グループでは、国内事業は、国内CRO事業、国内SMO事業、国内CSO事業の3つのセグメントで展開しています。

① 国内CRO事業

国内CRO事業は、イーピーエス株式会社及び株式会社E P Sアソシエイト、派遣型CRO業務の株式会社イーピーメイト、医薬・医療系IT関連業務のイトライアル株式会社の4社で事業を展開しています。

国内CRO事業を業務別でみると、モニタリング業務は、原価管理の徹底及びリソースの最適化を進めることで売上高、営業利益ともに予定を超過して推移しました。データマネジメント業務は、原価管理の徹底及びグループ会社との連携強化を推進し売上高、営業利益ともに予定を超過して推移しました。派遣型CRO業務は、売上高は予定に対して若干未達となりましたが、営業利益は堅調に推移しました。医薬・医療系IT関連業務については、売上高はほぼ予定通り、営業利益は堅調に推移しました。

その結果、国内CRO事業における売上高は、前年同期と比較して、1,027百万円増の13,443百万円（同8.3%増）となりました。利益面においては、営業利益は、3,631百万円（同26.9%増）となりました。

② 国内SMO事業

国内SMO事業は、平成28年1月1日付で株式交換により経営統合した株式会社総合臨床ホールディングスと株式会社イーピーメントにおいて事業を展開しています。

国内SMO事業における売上高は、前年同期と比較して1,877百万円増の5,004百万円（同60.0%増）と大幅な増収となりました。営業利益につきましても、増収効果により、前年同期と比較して102百万円増の419百万円（同32.3%増）と大幅な増益となりました。主な要因としては、当第2四半期連結会計期間より、株式会社総合臨床ホールディングスが連結対象となり、この経営統合によって、優良な医療機関との提携拡大、プロジェクト進捗管理体制の強化、企画提案型営業の推進等のシナジーの実現が可能になったことが挙げられます。さらに、株式会社イーピーメントにおいて、前期からズレ込んだ大型案件が好調に進捗したことから、CRCの新規採用及びがん領域の施設拡大に伴うがん領域担当CRCの教育強化等における人件費をはじめとした先行投資的費用を上回る利益が確保できたことによるものです。

③ 国内CSO事業

国内CSO事業は、株式会社E P ファーマラインにおいて展開しています。

CSO業界においては、CMR（契約MR：医療情報担当者）の総数が若干の減少傾向にある中、国内CSO事業では、新規案件獲得に向けての先行採用を進めていた医薬向けCMRの人材を、医療機器CMR、PMSの採用に移行し、人員の効率的配置、経費削減など利益面の改善を進めてまいりました。

その結果、国内CSO事業における売上高は、前年同期と比較して、166百万円増の3,539百万円（同4.9%増）となりました。利益面においては、営業利益は、前年同期と比較して、84百万円減の124百万円（同40.4%減）となりました。

【海外事業】

海外事業は、Global Research 事業、益新事業の2つのセグメントで展開しています。

④ Global Research 事業

Global Research 事業は、E P S インターナショナル株式会社とその海外グループ会社で構成されており、中国を含む東アジア及び東南アジアを中心に事業を展開しています。

売上高は、従来から実施中の大型プロジェクトが順調に進捗したこと、また新規プロジェクトの受注により、前年同期と比較して901百万円増の2,098百万円（同75.3%増）と大幅な増収となりました。また、営業利益は、売上高の増収に伴い219百万円と前年同期と比較して369百万円増の大幅な増益となりました。

⑤ 益新事業

益新事業は、E P S 益新株式会社と益新(中国)有限公司及びその海外グループ会社で構成されています。E P S 益新株式会社は日本国内からの益新事業全体の管理及びサポート、益新(中国)有限公司は現地における事業の統括を行っています。

益新事業における売上高は、医療機器関連商品の販売が、中国国内経済の低迷の影響を受けたこと等により、前年同期と比較して143百万円減の1,869百万円（同7.1%減）と減収となりました。営業損失は、原価管理等により前年同期と比較して、48百万円減の74百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、52,627百万円と前連結会計年度末から13,240百万円増加しました。

流動資産では、主に現金及び預金が2,841百万円、受取手形及び売掛金が1,578百万円、仕掛品が1,431百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が121百万円減少したことなどにより6,551百万円増加して36,191百万円となりました。

固定資産では、主として無形固定資産が6,183百万円、投資有価証券が131百万円、敷金及び保証金が129百万円、その他の投資その他の資産が437百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が96百万円減少したこと、貸倒引当金を96百万円計上したことなどにより6,689百万円増加して16,435百万円となりました。

負債の部においては、主に支払手形及び買掛金が238百万円、短期借入金が1,110百万円、賞与引当金が166百万円、その他の流動負債が1,773百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が876百万円、長期借入金が154百万円減少したことなどにより、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は18,256百万円と2,459百万円増加しました。

純資産の部では、資本金及び資本剰余金が10,534百万円、利益剰余金が2,144百万円増加した一方で、自己株式が1,492百万円の増加、為替換算調整勘定が455百万円減少したことなどにより、当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は10,780百万円増加して34,370百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が4,182百万円となり、売上債権の減少が622百万円、仕入債務の増加が277百万円あった一方で、たな卸資産の増加が333百万円、法人税等の支払による支出が2,525百万円、投資有価証券売却益を196百万円計上したことなどにより2,481百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比1,913百万円増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に有形及び無形固定資産の取得による支出を183百万円、出資金の払込による支出が392百万円あった一方で、投資有価証券の売却による収入が314百万円あったことなどの結果、250百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比467百万円減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期及び長期借入金の返済を3,387百万円、自己株式の取得による支出を1,010百万円、株主及び非支配株主に対する配当金の支払を385百万円行った一方で、短期及び長期借入れによる収入が4,275百万円あったことなどにより、468百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は362百万円の収入）となりました。

また、株式交換による現金及び現金同等物の増加額が1,113百万円あったことなどの結果、当四半期末における現金及び現金同等物は17,430百万円（前年同四半期連結累計期間比5,304百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年9月期第1四半期決算短信（平成28年2月1日付）にて公表いたしました予想を、現時点で入手可能な数値にあわせて修正しております。

詳細につきましては、平成28年4月26日に公表いたしました「第2四半期（累計）業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社はグループ経営の一層の充実・強化を推進し、グループとしての企業価値の更なる向上を図るため、平成28年1月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施しました。これにより当第2四半期連結会計期間より株式会社総合臨床ホールディングスを連結の範囲に含めています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,968	16,810
受取手形及び売掛金	9,913	11,492
有価証券	762	641
商品	958	1,224
仕掛品	823	2,254
その他	3,279	3,835
貸倒引当金	△66	△66
流動資産合計	29,640	36,191
固定資産		
有形固定資産	3,010	2,914
無形固定資産		
のれん	928	7,100
その他	688	699
無形固定資産合計	1,616	7,800
投資その他の資産		
投資有価証券	1,916	2,047
敷金及び保証金	1,551	1,681
その他	2,457	2,894
貸倒引当金	△806	△902
投資その他の資産合計	5,119	5,721
固定資産合計	9,746	16,435
資産合計	39,387	52,627
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	894	1,132
短期借入金	615	1,725
1年内返済予定の長期借入金	704	720
未払法人税等	2,454	1,578
賞与引当金	1,707	1,874
受注損失引当金	21	25
その他	4,654	6,428
流動負債合計	11,052	13,485
固定負債		
長期借入金	3,178	3,023
役員退職慰労引当金	230	239
退職給付に係る負債	724	754
資産除去債務	390	446
その他	222	308
固定負債合計	4,745	4,771
負債合計	15,797	18,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875	3,888
資本剰余金	3,593	12,115
利益剰余金	16,260	18,404
自己株式	△572	△2,064
株主資本合計	21,155	32,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	41
為替換算調整勘定	1,990	1,535
退職給付に係る調整累計額	7	20
その他の包括利益累計額合計	2,063	1,597
非支配株主持分	370	430
純資産合計	23,590	34,370
負債純資産合計	39,387	52,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	22,052	25,650
売上原価	15,695	17,443
売上総利益	6,356	8,206
販売費及び一般管理費	3,917	4,412
営業利益	2,439	3,794
営業外収益		
受取利息	48	24
消費税等差益	111	193
その他	196	113
営業外収益合計	355	331
営業外費用		
支払利息	16	17
貸倒引当金繰入額	151	95
為替差損	44	27
持分法による投資損失	66	37
その他	8	10
営業外費用合計	286	188
経常利益	2,508	3,937
特別利益		
投資有価証券売却益	-	196
段階取得に係る差益	-	48
特別利益合計	-	244
特別損失		
投資有価証券評価損	6	-
減損損失	294	-
特別損失合計	301	-
税金等調整前四半期純利益	2,207	4,182
法人税、住民税及び事業税	1,306	1,576
法人税等調整額	△7	66
法人税等合計	1,298	1,643
四半期純利益	908	2,539
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	2,524

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	908	2,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△23
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	571	△423
退職給付に係る調整額	8	12
持分法適用会社に対する持分相当額	75	△54
その他の包括利益合計	637	△488
四半期包括利益	1,545	2,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,603	2,058
非支配株主に係る四半期包括利益	△57	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,207	4,182
減価償却費	238	268
のれん償却額	161	288
賞与引当金の増減額(△は減少)	92	90
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	45
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26	9
受取利息及び受取配当金	△53	△34
支払利息	16	17
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△196
投資有価証券評価損益(△は益)	6	-
減損損失	294	-
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△48
売上債権の増減額(△は増加)	△838	622
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95	△333
仕入債務の増減額(△は減少)	256	277
その他の流動負債の増減額(△は減少)	107	55
その他	△199	△253
小計	2,217	4,990
利息及び配当金の受取額	53	34
利息の支払額	△16	△18
法人税等の支払額	△1,686	△2,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	567	2,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39	△9
定期預金の払戻による収入	60	38
有形固定資産の取得による支出	△196	△138
無形固定資産の取得による支出	△80	△44
投資有価証券の売却による収入	-	314
敷金及び保証金の差入による支出	△112	△46
出資金の払込による支出	△3	△392
その他	△346	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△718	△250

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,520	4,045
短期借入金の返済による支出	△1,490	△2,978
長期借入れによる収入	-	230
長期借入金の返済による支出	△258	△409
自己株式の取得による支出	△1	△1,010
自己株式の売却による収入	45	61
配当金の支払額	△358	△380
非支配株主への配当金の支払額	△64	△4
その他	△29	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	362	△468
現金及び現金同等物に係る換算差額	221	△137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	433	1,624
現金及び現金同等物の期首残高	11,692	14,692
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	-	1,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,126	17,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年1月1日付けで当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、資本金が2,012百万円、資本剰余金が8,521百万円増加した結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が3,888百万円、資本剰余金が12,115百万円となっております。

また、当社は平成28年2月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式767,500株の取得を行いました。また、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております株式会社総合臨床ホールディングスが所有している当社株式400,000株が自己株式として増加しております。これらの要因等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,492百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は2,064百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	11,921	3,116	3,363	1,171	2,002	477	22,052	—	22,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	494	11	9	25	10	604	1,155	(1,155)	—
計	12,415	3,127	3,372	1,197	2,013	1,081	23,207	(1,155)	22,052
セグメント利益	2,862	317	208	(149)	(122)	(117)	2,998	(559)	2,439

(注) 1 セグメント利益の調整額(559)百万円には、セグメント間取引消去等の18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(577)百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 「その他」の区分には、「BPO事業」、「その他事業」を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間に、「Global Research事業」セグメントにおいて、のれんの減損を計上したことにより、のれんの金額が294百万円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額
	国内CRO事業	国内SMO事業	国内CSO事業	Global Research事業	益新事業	その他(注2)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	12,546	4,953	3,526	2,068	1,859	696	25,650	—	25,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	896	51	13	30	9	711	1,712	(1,712)	—
計	13,443	5,004	3,539	2,098	1,869	1,407	27,362	(1,712)	25,650
セグメント利益	3,631	419	124	219	(74)	(18)	4,302	(508)	3,794

(注) 1 セグメント利益の調整額(508)百万円には、セグメント間取引消去等の44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(553)百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 「その他」の区分には、「CPO事業」、「その他事業」を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間よりBPO事業はCPO事業と名称を変更いたしました。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間に、当社を株式交換完全親会社、株式会社総合臨床ホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「国内SMO事業」セグメントにおいて、のれんの金額が6,496百万円増加しております。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算定された金額です。

(重要な後発事象)

連結子会社同士の合併

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

当社は平成28年3月8日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社総合臨床ホールディングス（以下「総合臨床HD」という。）に、中間持株会社としての機能を持たせて、その傘下に、当社の完全子会社である株式会社イーピーメントを総合臨床HDに株式交換（無対価）により資本異動させた後、同社と同じSMOである株式会社総合臨床サイエンスとを合併により統合することを決議し、平成28年5月1日付で両社は合併いたしました。

	名称	事業の内容
吸収合併存続会社	株式会社イーピーメント (注) 合併前に総合臨床HDの100%子会社化	SMO事業
吸収合併消滅会社	株式会社総合臨床サイエンス	SMO事業

(2) 合併の日程

合併の効力発生日 平成28年5月1日

(3) 合併の方式

株式会社イーピーメントを存続会社とし、株式会社総合臨床サイエンスを消滅会社とする吸収合併方式

(4) 合併に係る割当ての内容

総合臨床HDを完全親会社とする子会社同士の合併であるため、株式及び株式に代わる金銭等の割当てはありません。

2. 合併後の状況

平成28年5月1日付けで株式会社イーピーメントは株式会社E P 総合へ商号を変更しております。

なお、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期並びに大株主及び持株比率の変更はありません。

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日）に基づき共通支配下の取引として処理する予定です。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日) (百万円)	前年同期比(%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	7,163	109.0
データマネジメント業務	4,447	107.0
CROその他業務	1,223	105.2
国内CRO事業計	12,834	107.9
国内SMO事業	6,928	222.3
国内CSO事業	3,520	104.7
Global Research 事業	1,830	154.0
益新事業	1,853	92.8
その他	699	146.5
合計	27,666	125.5

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(2) 受注実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
国内CRO事業				
モニタリング業務	7,189	75.7	18,751	90.4
データマネジメント業務	4,299	82.4	15,096	98.7
CROその他業務	872	71.9	2,078	109.7
国内CRO事業計	12,360	77.6	35,926	94.7
国内SMO事業	4,404	117.6	17,999	207.6
国内CSO事業	2,968	99.6	6,107	139.4
Global Research 事業	2,304	83.3	5,900	106.9
益新事業	1,997	100.9	177	623.3
その他	1,058	224.5	1,622	1,264.4
合計	25,092	90.0	67,734	119.5

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

(3) 販売実績

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
国内CRO事業		
モニタリング業務	7,147	108.5
データマネジメント業務	4,225	100.9
CROその他業務	1,173	102.1
国内CRO事業計	12,546	105.2
国内SMO事業	4,953	158.9
国内CSO事業	3,526	104.8
Global Research 事業	2,068	176.6
益新事業	1,859	92.9
その他	696	145.8
合計	25,650	116.3

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。